

## フルモールド<sup>1</sup>鋳造法<sup>1</sup>をインドへ

### 鋳物製造業の専門人材育成と高品質鋳物製品で産業を支える — 株式会社木村鋳造所 —

国際協力機構（JICA）は、株式会社木村鋳造所（静岡県駿東郡清水町、木村寿利 代表取締役）との間で、2022年2月に中小企業・SDGs ビジネス支援事業「鋳物製造技術者の育成にかかる普及・実証・ビジネス化事業（インド国）」にかかる業務委託契約を締結しました。この度、10月4日にインド・カルナタカ州人材開発局傘下の KGTTI (Karnataka German Technical Training Institute) で、2025年1月に開講する鋳造技術者育成コースで使用される機材の設置が完了し、インド政府関係者、職業訓練校および業界関係者ら約100名を招待して、お披露目会が行われました。

設置された機材は、鋳物づくりに必要な3Dモデルの作成や鋳造シミュレーション作業、SEM/EDSや光学顕微鏡といった検査機器の取り扱い方と分析方法など、鋳鉄の鋳物づくりに必要な要素を幅広く学習するのに必要な機材で、高度な実践的技術を持った人材の育成に活用されます。

インドでは自動車・モビリティ産業の成長に伴い、鋳造業も大きな成長が見込まれ、多くの顧客が開発拠点を構えています。しかしながら、鋳物製造業における実践的な職業訓練施設は不十分で、既存教育機関で実施される教育内容も十分でないため、高度な実践的技術・経営ノウハウを持った人材が不足しており、高品質な鋳物製品の国内供給ができない状況が続いています。鋳造技術者育成コースでは、日本式ものづくり教育も含めた若手人材の育成を行い、インド国内の産業基盤を支える素形材技術分野における人材育成が支援されます。また、「質の高い教育をみんなに」や「人や国の不平等をなくそう」といったSDGsに関連した取り組みの一端を担うものです。

<sup>1</sup> 発泡スチロールを用いた消失模型鋳造法。発泡スチロールで実際の製品と同等の模型を作り、それを砂に埋め、そのままの状態です。溶湯を流し込み、鋳物を作る鋳造法。



式典前のお祓いの儀式



お披露目会の様子



KGTI、インド政府関係者ほか



設置された機材

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 [https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部企業連携課 担当：佐藤  
[TEL:052-533-1387](tel:052-533-1387) FAX:052-564-3751  
E-mail : [Sato.Yasushi@jica.go.jp](mailto:Sato.Yasushi@jica.go.jp)

日本の真ん中から世界へ  
JICA 中部

<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>